

(株)テクノ・システム・リサーチ

URL [www.t-s-r.co.jp](http://www.t-s-r.co.jp)

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル

代表取締役社長 藤田正雄

#### クライアント PC 資産管理市場規模予測を発表

- ・ 2008 年国内クライアント PC 資産管理ソフトウェア売上額は、前年比 10.4%増の 208 億円
- ・ クライアント PC 資産管理ソフトウェアの市場導入率向上の影響から伸び率に若干の影響は出るものの、市場規模は拡大していく
- ・ 2007 年～2013 年の年間平均成長率は 9.2%で拡大

2009 年 8 月、IT 専門調査会社であるテクノ・システム・リサーチは、国内クライアント PC 資産管理ソフトウェアの現状と今後について分析した調査報告書を発表しました。これによると 2008 年のクライアント PC 資産管理ソフトウェア(ライセンス、オプション、保守サービスの合計)の市場規模は、前年比 10.4%増の 208 億円。2007 年～2013 年の国内クライアント PC 資産管理ソフトウェア市場の年間平均成長率(CAGR)は 9.2%で、2013 年の売上額は 321 億円になると予測しています。

現在、J-SOX 法、個人情報保護法の影響からコンプライアンス、内部統制、情報漏えい防止に対するユーザーの意識は非常に高く、クライアント PC 資産管理ソフトウェアを提供する各メーカーは、セキュリティ管理の機能を盛り込んだ形での提供を推進しており、不況下でも成長を見せている市場となっています。

しかし、管理対象となりえるビジネス用途の PC 台数には上限が存在することから、新規ライセンス販売においては徐々に飽和状態に向かっていることが推測されます。そのような中でクライアント PC 資産管理市場においては 10 社を超えるメーカーがひしめき合いながらユーザー獲得に尽力しており、メーカー同士の価格競争や差別化を図る動きが活発化されています。この動きがユーザーの需要と結びつき、クライアント PC 資産管理ソフトウェア市場はしばらくの間、成長していくと予測しています。

ただし、国内ユーザーに導入が一巡し、新規ユーザー案件が飽和状態を迎えると、クライアント PC 資産管理市場において各メーカーは2つの流れに分かれていくことが予想されます。

ひとつは、新規ライセンスの売上が見込めなくなると、既存のユーザーからの保守サービス費用で売上を立てていこうとするストックビジネスへの流れ、もうひとつが、CMDB を活用した IT 資産の一元管理の実現を目指す流れです。

アナリストの藤崎武志は、次のように述べています。

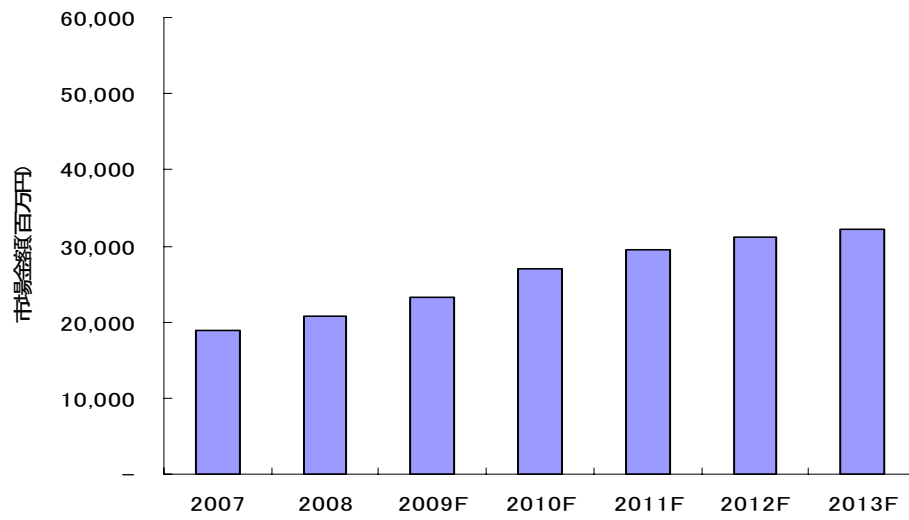
「今後クライアント PC 資産管理市場における新規案件が飽和状態を迎えると、それまでにどれだけのシェアを獲得しているのかによって、ストックビジネスの規模が決まってくるものと考えられる。また、ストックビジネスのほかに IT 資産の統合管理を考えるメーカーが増えていくことが予想される。PC 資産管理というひとつのソリューションのみでのビジネス規模から脱却し、サーバーやストレージ、ネットワークといった IT 資産全体の管理へと幅を広げていくことで「統合資産管理」への方向性に転換していく可能性がある。しかし、それぞれの資産を十分に管理できるノウハウと技術力、そしてそれらの構成情報を一元的に把握するための CMDB が必要不可欠となってくる。これらの課題を解決し、よりユーザーに対してベネフィットを訴求できるメーカーは今後シェアを大きく取っていくこととなる。」

今回の発表はテクノ・システム・リサーチが発行したレポート「クライアント PC 資産管理市場の競合ベンダー分析」～クライアント PC 資産管理市場の全貌を明らかにする～にその詳細が報告されています。

本レポートでは、メーカー・ユーザーの 2 つの視点で分析を行うと同時に、クライアント PC 資産管理ソフトウェアの 2007 年、2008 年の出荷実績、2009 年～2013 年までの予測を行っています。また、専門ベンダーとシステムベンダーという形でメーカーを区別したシェアや、メーカー同士の競合意識についてもスポットを当てたクライアント PC 資産管理市場に特化した形でのレポート作成を行っております。

<参考資料>

クライアント PC 資産管理ソフトウェア市場トレンド（2007 年～2013 年）



出展：(株)テクノシステムリサーチ

お問い合わせ先

(株)テクノ・システム・リサーチ

藤崎武志

TEL：03-3851-5651

e-mail：fujisaki@t-s-r.co.jp